

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証 2025 年度 2 期(東京, 大阪)再評価試験のご案内

2025 年 6 月 27 日
一般社団法人 日本溶接協会
建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会

WES 8110 及び WES 8111 (*) に基づき、型式認証された溶接ロボットを用いて建築鉄骨の製作を行う建築鉄骨ロボット溶接オペレータの再評価(更新)試験を次の要領で実施します。

保有資格の継続を希望する場合、新規登録又は再評価登録からサーベイランスを 2 回受けて 6 年を経過する前に、再評価試験を受けて合格しなければなりません。

再評価試験は、有効期限を迎える約 5 ヶ月前の再評価試験か又は約 2 ヶ月前の再評価試験のいずれかを受けて下さい (受験機会は 1 回です)。

今期の再評価試験を受けていただく対象者にご案内いたします。

なお、ご不明な点がございましたら、4.3 項の申込み先にお問合せ下さい。

(*) WES 8110 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの技術検定における試験方法及び判定基準

WES 8111 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証基準

1. 今回 (2025-2 期) の再評価試験の受験対象者

以下の資格者が今回の再評価試験の受験対象者です。受験を希望される場合には申請期日までに必要書類を提出して下さい。

表 1 2025 年度 2 期の再評価試験の受験対象者

交付日又は更新日	サーベイランス② (2 回目)	有効年月日
2019 年 11 月 01 日	2023 年 11 月 01 日	2025 年 10 月 31 日
2020 年 02 月 01 日	2024 年 02 月 01 日	2026 年 01 月 31 日

(備考) 今回の受験で合格して登録申請された適格性証明書の更新日は、現在保有する有効期限が 2025 年 10 月 31 日の方は 11 月 01 日付、2026 年 01 月 31 日の方は 2026 年 02 月 01 日付となります。

2. 受験資格

- (1) 今回の申請日前 2 年間ににおける保有資格の種別記号のロボット溶接操作 100 日以上のある者。なお、複数資格(機種)を申請する場合の操作経験日数は、機種ごとに 30 日以上で、かつ全ての機種の合計が 100 日以上であること。
- (2) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの専門級受験者で、取得申請する資格の種別に対して同じ溶接姿勢の JIS Z 3841/WES 8241 に基づく半自動溶接技能者の専門級資格を現有している場合は、原則として、ロボット溶接実技試験が免除されます (表 4 参照)。

3. 再評価試験の実施

3.1 試験日と開催地

期	コード	期 日	開催地	会 場	申請期限日
2	GK170	2025 年 9 月 6 日(土)	東京	溶接会館 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 電話 03-5823-6325	2025 年 08 月 01 日 (金)
	GK171	2025 年 9 月 7 日(日)	大阪	ホテルマイステイズ 新大阪コンファレンスセンター 大阪府大阪市淀川区西中島 6-2-19 電話 06-6302-5571	

(注 1) 受験申請者が少ない場合(新規・再評価受験の合計で 10 名／1 会場に満たない場合)は、当該会場での試験は中止になります。その場合、申込みされた方には事前に連絡します。

(注 2) また、受験可能人数は東京会場 40 名、大阪会場 40 名です(いずれも新規・再評価受験の合計数)。これを超えた場合は受験申請を受付けできません。

＜なお、2025 年度の予定は次のとおりです。＞

2025 年度	コード	期 日	開催地	会 場	案内掲載	受付期間
3 期	GK172	2025 年 11 月 15 日(土)	北海道	北農健保会館(札幌)	9 月末	～10 月末
	GK173	2025 年 11 月 29 日(土)	東京	溶接会館		
	GK174	2025 年 11 月 30 日(日)	東京	溶接会館		
	GK175	2025 年 12 月 6 日(土)	大阪	ホテルマイステイズ 新大阪		
4 期	GK176	2026 年 2 月 14 日(土)	東京	溶接会館	12 月末	～1 月末
	GK177	2026 年 2 月 15 日(日)	東京	溶接会館		
	GK178	2026 年 2 月 28 日(土)	福岡	福岡商工会議所		
	GK179	2026 年 3 月 7 日(土)	大阪	ホテルマイステイズ 新大阪		

3.2 再評価試験の実施内容について

再評価試験は、WES 8110 及び WES 8111 に基づき以下のとおり実施します。

- (1) 講 習 (09 : 30～12 : 05)
- (2) 口述試験 (12 : 30～17 : 00) (受験人数により終了時間は変わります)

(次ページへ続く)

4. 受験申請手続きについて

4.1 提出書類

(1) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ技術検定試験申込書(再評価)

(注 3) 顔写真は無帽、上半身で、最近6ヶ月以内に撮影したものを貼付して下さい。

(注 4) 申込書には、予めロボット型式認証番号が出力されていますので、ご確認下さい。もし、この番号に誤りがある場合には赤ペンで修正して下さい。

(2) 受験者の職務経歴証明書

(注 5) 記入できる職務経歴の期間は、“申請日の2年前から申請日まで”です。

(注 6) 期間欄の日付(月)は、各行で重複しないようにして下さい。

< 誤 >

期 間	種別記号	対象工事名称	ロボット操作日数(訓練・補助を含む)
(自)西暦 2023 年 8 月 (至)西暦 2023 年 10 月	SD-FN	*****	50
(自)西暦 2023 年 10 月 (至)西暦 2023 年 11 月	CD-FN	////////////////	20
(自)西暦 2023 年 10 月 (至)西暦 2023 年 12 月	CD-FN	+++++	40

< 正 >

期 間	種別記号	対象工事名称	ロボット操作日数(訓練・補助を含む)
(自)西暦 2023 年 8 月 (至)西暦 2023 年 10 月	SD-FN	*****	50
(自)西暦 2023 年 11 月 (至)西暦 2023 年 11 月	CD-FN	////////////////	20
(自)西暦 2023 年 12 月 (至)西暦 2023 年 12 月	CD-FN	+++++	20

(注 7) 同一日に複数の工事又は複数の種別 (SD-FN, CD-FN 等) の操作を行っている場合は、いずれか一つの工事又は種別についてのみ、1 日としてカウントできます。

- ・ある期間の経歴(年月)を記入した場合は、別の工事の経歴があっても、同じ期間の経歴を記入することはできません。
- ・月での区別が難しい場合には、日にちまで記入して明確に区別して下さい。

期 間	種別記号	対象工事名称	ロボット操作日数(訓練・補助を含む)
(自)西暦 2023 年 05 月 (至)西暦 2023 年 08 月 10 日	SD-FN	*****	50
(自)西暦 2023 年 08 月 18 日 (至)西暦 2023 年 12 月	CD-FN	////////////////	50

(注 8) また、複数機種の場合、各々の機種の職務経歴書において、同じ期間の経歴を記入することはできません。

(3) 添付書類

下記①～③の書類は A4 サイズでコピーし、申請書 1 件ごとに添付して下さい。

なお、下記②(専門級種別を申請する場合)に示すとおり、再評価受験申請においても JIS 半自動溶接技能者適格性証明書(現有)コピーの添付を必須としました。

- ① 現在保有している建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格認証の適格性証明書(表裏)のコピー
- ② 申請種別(専門級)と同じ姿勢の、現在保有している JIS 半自動溶接技能者適格性証明書(専門級)のコピー
- ③ 申請する種別と同じ種別のロボットの型式認証書(日本ロボット工業会発行)のコピー

(注 9) ロボット型式認証書は合否判定日 (2025 年 9 月 16 日) において有効期間内であり、附属書を含めて A4 サイズでコピーし、申請書 1 件ごとに添付して下さい。

[建築鉄骨溶接ロボット型式についての注意事項]

(注 10) アークマン RON/MP の SDFN はロボット型式が 3 種類 (SDFN061, SDFN 067, SDFN 068) あり、入熱とパス間温度に差があります。したがって、SDFN061 と SDFN067・SDFN068 は 1 つの受験申込書中に一緒に記載しないで下さい (一緒に記載した場合、口述試験において評価上の不都合が生じる場合があります)。どうしても必要な場合には、SDFN061 と SDFN067・SDFN068 のそれぞれの申込書を作成 (申込書 2 件作成) して下さい。なお、CDFN062 と CDFN069 の場合も同様です。

(注 11) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格認証においては、アークマンの RON/MP と MP は別機種扱いです [石松の IR-700/900/100 と IR-700REG/900REG/100REG の場合、ARCMAN A60 の SDFN108・113 と SDFN115 (REGARC) 及び CDFN114 と CDFN116 (REGARC) の場合も同様です]。

1 つの受験申込書に、アークマン RON/MP の型式認証書とアークマン MP の型式認証書を一緒に添付することはできません。アークマン RON/MP の型式とアークマン MP の型式の両方を適用する場合は、受験申込書も 2 つ (アークマン RON/MP とアークマン MP) 作成して、提出して下さい (合格後の適格性証明書も、アークマン RON/MP とアークマン MP の 2 枚発行されます)。

なお、アークマン RON/MP の型式認証記号とアークマン MP の型式認証記号は下記のとおりです。機種追加申請書の書式は、一般社団法人 日本溶接協会のホームページからダウンロードください。

なお、アークマン RON/MP とアークマン MP の型式認証記号は下記のとおりです。

アークマン RON/MP の型式認証記号(下 7 桁のみ記載)

PPFS066
PPFF058
SDFN061, SDFN067, SDFN068
CDFN062, CDFN069
PPVS055
PPVF054
PPHS060
PPHF059

アークマン MP [パルスアーク溶接(メカ呼称: REGARC)] の型式認証記号(下 7 桁のみ記載)

SDFN072
CDFN073

④ 受験料の銀行振込控のコピー(A4 用紙へ実物大コピー。拡大はしなくて結構です。)

(注 12) 記入した申請書と職務経歴証明書は、そのコピーに写真を貼り、本人及び所属長の印を押して提出して下さい。申請書(職務経歴証明書等添付書類を含む)は必ず本人が内容を確認して下さい。

<お願い!> 提出書類については、必ず控えを保管して下さい。

<お願い!> 再評価申請をしない場合には、メール又はファックス (メールアドレス等は 4.3 項を参照) にて、“該当の資格者の管理番号、氏名及び再評価申請しない旨 (差し支えなければ、理由も含めて)” をご連絡下さい。

(次ページへ続く)

4.2 受験料及び振込先

(1) 再評価試験の受験料(消費税 10%込み)は 33,330 円です。

(複数機種の再評価申請、機種追加を同時に申請する場合等も、受験料は合計で 33,330 円です。)

また、ロボット溶接実技試験受験者は、別途実技試験費用が必要です。

(2) 受験料の振込み先

三井住友銀行 神田駅前支店 普通預金 No.1304625 一般社団法人 日本溶接協会

(注 12) 振込手数料は、受験申請者の方でご負担願います。振込控のコピーを受験申込書に添付して下さい。振込控(写)がない場合は受付できません。

(3) インボイス対応領収書の発行について

新規受験料、再評価受験料、サーベイランス申請料、認証登録料の振込みに対するインボイス対応の電子領収書は当協会ホームページからダウンロードすることができます。

再評価受験の場合は、受験番号(例：GK167R01 等)・氏名(カタカナ)・生年月日を入力することで、概ね 6 月末からダウンロードできます。

【(一社)日本溶接協会 登録番号：T5010005004461】

4.3 申し込み先

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20

(一社)日本溶接協会 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会 事務局(西村)

TEL.03-5823-6325 FAX.03-5823-5211 (E-mail: yoshihito_nishimura@jwes.or.jp)

4.4 受付期間と受験票の送付

表 2 に示す**申請期限日**までに提出書類を申込み先に提出して下さい。受験票は、試験日の約 2 週間前に勤務先(連絡先)に送付します。

(次ページへ続く)

5. 資格認証の範囲他

資格認証の範囲は、表 3 のとおりです。また、ロボット溶接実技試験の免除となる半自動溶接技能者の専門級資格は、表 4 のとおりです。

表 3 資格認証の範囲

(WES 8111「建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証基準」から)

級別	種別記号	継手の区分	溶接姿勢	エンドタブの種類
基本級	PP-FS	H 形鋼柱と梁フランジ	下向 (F)	スチールタブ
	PP-FF	溶接組立箱形断面柱と梁フランジ 十字柱と梁フランジ H 形鋼柱と通しダイアフラム 十字柱と通しダイアフラム 通しダイアフラムと梁フランジ		スチールタブ、代替タブ
	SD-FN	角形鋼管柱と通しダイアフラム 角形鋼管柱と角形鋼管柱		なし
	CD-FN	円形鋼管柱と通しダイアフラム 円形鋼管柱と円形鋼管柱		なし
専門級	PP-VS	H 形鋼柱と梁フランジ	立向 (V)	スチールタブ
	PP-VF	溶接組立箱形断面柱と梁フランジ	横向 (H)	スチールタブ、代替タブ
	PP-HS	十字柱と梁フランジ		スチールタブ
	PP-HF	通しダイアフラムと梁フランジ		スチールタブ、代替タブ
	SS-HA	角形鋼管柱と角形鋼管柱	横向 (H)	なし
	SS-HN	角形鋼管柱と通しダイアフラム		
	CC-HA	円形鋼管柱と円形鋼管柱		なし
	CC-HN	円形鋼管柱と通しダイアフラム		
	HH-HS	H 形鋼柱と H 形鋼柱		スチールタブ
	HH-HF	H 形鋼柱と通しダイアフラム		スチールタブ、代替タブ
	BB-HC	溶接組立箱形断面柱と溶接組立箱形断面柱		コーナタブ
	BB-HN	溶接組立箱形断面柱と通しダイアフラム		なし

表 4 ロボット溶接実技試験の免除条件となる

JIS Z 3841 / WES 8241 に基づく半自動溶接技能者の専門級資格

専門級申請資格の種類		JIS Z 3841 / WES 8241 に基づく 半自動溶接技能者の専門級資格
継手の区分	種別記号	
柱と梁フランジ	PP-VS	SA-2V,SA-3V,SN-2V,SN-3V のいずれか
	PP-VF	
	PP-HS	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
	PP-HF	
角形鋼管柱と角形鋼管柱	SS-HA	—
	SS-HN	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
円形鋼管柱と円形鋼管柱	CC-HA	—
	CC-HN	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
H 形鋼柱と H 形鋼柱	HH-HS	
	HH-HF	
溶接組立箱形断面柱と 溶接組立箱形断面柱	BB-HC	
	BB-HN	

《参考》 その後の対応と手続きについて

6. 試験結果の発表

試験結果（合否）については、勤務先（連絡先）宛に合否通知書を郵送します。電話等による照会には応じられません。

合格された方には、合格通知書と一緒に登録申請書を送付します。資格の登録には登録申請の手続きが必要で、登録料（認証料）を振込みの上、指定された期限までに申請して下さい。

7. 適格性証明書の交付

登録申請書の受領後、所定の建築鉄骨ロボット溶接オペレータ適格性証明書が交付されます。交付日(更新日) は、表 1 の備考に示したとおりです。

8. 再評価試験後の資格継続について

8.1 認証の有効期間

資格認証の有効期間は、更新日より 2 年間です。

8.2 サーベイランス

資格更新後 2 年を経過する前に、その間に従事したロボット溶接の業務のサーベイランスを受けて合格すれば、認証の有効期間を 2 年間延長した適格性証明書が交付されます。

サーベイランスは、2 回まで受けることができます (延べ有効期間は最大 6 年です)。

8.3 再評価

資格の登録後 6 年を経過する前(サーベイランスを 2 回受けてから更に 2 年を経過する前)に、資格の更新を希望する場合は、再評価試験を受けなければなりません。

8.4 サーベイランス案内、再評価案内が届かなかった場合

サーベイランス案内、再評価案内が届かなかった場合、至急、事務局へご連絡ください。案内が届かなかった場合でも、資格の有効期限直前の受験日(サーベイランスはサーベイランス審査日)で受験が出来なかった場合は、原則、その資格はその有効期限で失効します。資格の有効期限管理は、資格保持者と資格保持者の所属する企業様の責任でお願いします。

以上

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格における受験料金等

(一社)日本溶接協会

2025年03月31日改訂(2025年4月1日から適用)

技術検定試験及び認証等に要する費用項目		本体料金(円)	消費税10%込(円)	備考	
新規受験料		34,500	37,950	・複数機種申請の場合でも37,950円	
専門級受験料(基本級既得者)		5,000	5,500	・複数機種申請の場合でも5,500円	
追試(口述)受験料	(不合格となった試験が2025年3月31日以前の方)	6,000	6,600	(旧料金+教科書代)・複数機種申請の場合でも6,600円	
	(不合格となった試験が2025年4月01日以降の方)	5,000	5,500	(新料金)・複数機種申請の場合でも5,500円	
追試(学科)受験料	(不合格となった試験が2025年3月31日以前の方)	5,000	5,500	(旧料金+教科書代)・複数機種申請の場合でも5,500円	
	(不合格となった試験が2025年4月01日以降の方)	4,000	4,400	(新料金)・複数機種申請の場合でも4,400円	
再評価受験料		30,300	33,330	・複数機種申請の場合でも33,330円	
機種追加申請料	(別メーカー機種の追加(注1))	30,300	33,330	(口述試験を実施)・複数機種申請の場合でも33,330円	
	(同一メーカーの別機種の追加)	7,000	7,700	(書類審査による)・複数機種申請の場合でも7,700円	
種別追加申請料(注2)		7,000	7,700	(書類審査による)	
認証登録料	1種別(注2)	7,000	7,700	・機種毎に請求 ・最初の1種別は7,700円, 1種別追加ごとに2,200円 ・種別追加の場合も同様。 追加1種別は7,700円 追加2種別は9,900円	(注 1) “機種”とは、ロボット型式認証書に記載された製品機種(アークマンMP等)をいう。 (注 2) “種別”とは、継手区分・溶接姿勢・エンドタブの種類で分類される資格種類(SD-FN等)をいう。
	2種別	9,000	9,900		
	3種別	11,000	12,100		
	4種別	13,000	14,300		
	5種別	15,000	16,500		
	6種別	17,000	18,700		
	7種別	19,000	20,900		
	8種別	21,000	23,100		
サーベイランス審査料	1種別(注2)	7,000	7,700	・機種毎に請求 ・最初の1種別は7,700円, 1種別追加ごとに2,200円	
	2種別	9,000	9,900		
	3種別	11,000	12,100		
	4種別	13,000	14,300		
	5種別	15,000	16,500		
	6種別	17,000	18,700		
	7種別	19,000	20,900		
	8種別	21,000	23,100		
適格性証明書の再発行	証明書1枚当たり	3,000	3,300	左記は、氏名の変更, 所属企業名称の変更等, 現有証明書が確認できる場合の本体料金(郵送料を含む)である。	
		紛失等, 現有の証明書の現物が確認できない場合等の料金は, 認証登録料と同一とする。			
オペレータ特別教育修了証の発行手数料	修了証1枚当たり	3,000	3,300		

振込先:三井住友銀行 神田駅前支店 普通No.1304625

再評価申請書 提出前チェックシート

申請書類を提出（封筒に入れる）前に以下の項目について再度確認をお願いします。
（本シートは提出不要です。）

(1)申請書

- ☐ 申請日（日付）は書かれていますか？
- ☐ 受験者の押印はありますか？
- ☐ 受験者の氏名（漢字表記含む）、生年月日、所属部課に間違いはないですか？
- ☐ 勤務先の名称、フリガナ、所在地、連絡先(TEL,FAX,氏名,所属部課)に間違いはないですか？
- ☐ 現有資格の表記に間違いはありませんか？（適格性証明書番号、交付年月日、有効年月日、種別記号）
- ☐ 希望する試験日のコード No.に○をつけていますか？
- ☐ 申請する種別記号の番号に○をつけていますか？
- ☐ ロボット型式認証番号の下 7 桁(PPFF072 等)に間違いはないですか？
- ☐ ロボットメーカ、ロボット機種に間違いはないですか？
- ☐ 専門級を申請する場合、現有の資格 JISZ3841 専門級の欄に記載(SA-2V, SA-3H 等)していますか？

(2)受験者の職務経歴証明書(サーベイランス)

- ☐ 再評価申請日を記入していますか？
- ☐ 受験者の氏名、適格性証明書の番号と交付日、有効年月日に間違いはないですか？
- ☐ 受験者氏名欄の押印はありますか？
- ☐ 従事業務に期間に重複はありませんか？
- ☐ 期間は申請日前の 2 年以内ですか？
- ☐ 種別記号(PP-FS, SD-FN 等)は書かれていますか？
- ☐ 各行の柱梁接合部形式、柱断面それぞれを適切に○をつけていますか？
- ☐ ロボット操作日数は合計で 100 日を超えていますか？（複数の機種を受験する場合は、それぞれ 30 日以上、現有資格の操作日数含め、合計で 100 日以上の操作経歴が必要です。）
- ☐ 最下段の証明欄に会社名・所属肩書・所属長の氏名・押印がありますか？

(3)添付書類

- ☐ 現有資格のコピーを添付していますか？
- ☐ 専門級を申請する場合、専門級と同じ姿勢の半自動溶接の適格性証明書のコピーは添付していますか？
- ☐ 申請する種別に該当するロボット型式認証書のコピーを添付していますか？
 - ☐ 認証書は 2025 年 9 月 16 日において有効ですか？
 - ☐ 認証書の付属書のコピーも添付していますか？
- ☐ 銀行振込控えのコピーは添付されていますか？(※)
※ 複数名の複数の申請をまとめて振り込んでいただいてもよいですが、その場合、控えのコピーの余白部に該当者の氏名、当該申請の金額を記入し、それぞれの申請書にそのコピーを添付ください。

以上